

実務経験のある教員が担当する科目：2023年度

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科コース	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
田村 美由紀	保育内容の指導法（人間関係）	2	1	こども学科	公立幼稚園の養護教諭としての実務経験をもつ教員が、その経験に基づき、乳幼児期の子どもの人間関係の発達の特徴、身近な人との関わりと発達について指導を行う科目である。
田村 美由紀	子どもの保健	2	2	こども学科	公立幼稚園の養護教諭としての実務経験があり、養護教諭専修免許状をもつ教員が、その経験に基づき、子どもの心身の健康と保健の意義、身体的発育・発達と保健、心身の健康状態とその把握、疾病の予防及び適切な対応について指導を行う科目である。
中西 一弘	保育内容の指導法（健康）	2	1	こども学科	健康運動指導士、および、保健体育科教員(中・高)免許を有し、幼稚園・保育所での体育指導経験のある教員がその実務経験に基づき、子どもの発達を「健康」の視点から捉え指導を行う科目である。
池田 純子	保育内容の指導法（表現・造形）	2	1	こども学科	幼稚園教諭、保育士としての経験のある教員が、その実務経験に基づき、乳幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現(造形)活動を支援するための知識・技能、表現力の指導を行う科目である。
永房 典之	子ども家庭支援の心理学	2	2	こども学科	臨床発達心理士の資格を有し、親子へのカウンセリング等の実務経験のある教員が、子どもとその家庭を包括的に捉えた理解や子どもと家庭へのこころの支援の在り方について指導する科目である。
佐藤キミ男	障害児保育	2	2	こども学科	障害児に対する保育の実務経験をもつ教員が、特別の支援を必要とする幼児の障害特性を理解した適切な指導のあり方について必要な知識・技能等を指導する科目である。
こども学科 合計9単位					

実務経験のある教員が担当する科目：2023年度

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 コース	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
水野 早苗	医療事務実践Ⅰ	2	2	健康福祉学科 社会福祉専攻	医療機関において実務経験を有する教員が、診療報酬の仕組みやレセプト作成の方法（医学の基礎知識、医療保険制度の概要、診療報酬のしくみ、算定ルール等）を実践的に指導する科目である。担当教員の保有資格は診療報酬請求事務能力認定試験である。
水野 早苗	医療事務実践Ⅱ	2	2	健康福祉学科 社会福祉専攻	医療機関において実務経験を有する教員が、診療報酬の仕組みやレセプト作成の方法（外来・入院のレセプト作成能力）を実践的に指導する科目である。担当教員の保有資格は診療報酬請求事務能力認定試験である。
降旗 光太郎	ICDコーディング演習Ⅱ	2	1	健康福祉学科 社会福祉専攻	病院の診療情報管理室において実務経験を有する教員が、国際疾病分類（ICD-10）の概要やコーディングするための理論と技法を実践的に指導する科目である。（ICDコーディング演習Ⅰとあわせて、年間を通して事例検討を交えながら授業を展開する）担当教員の保有資格は診療情報管理士である。
降旗 光太郎	医療情報システム	2	1	健康福祉学科 社会福祉専攻	病院の診療情報管理室において実務経験を有する教員が、電子カルテシステムの操作方法や診断書などの医療文書作成、診療録への代行入力の方法について実践的に指導する科目である。
水野 早苗	調剤報酬請求事務	2	2	健康福祉学科 社会福祉専攻	医療機関等において実務経験を有する教員が、薬の基礎知識、医薬品医療機器等法をはじめ、調剤報酬算定方法、患者接遇を実践的に指導する科目である。
林 芳治	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	2	1	健康福祉学科 社会福祉専攻	社会福祉協議会での実務経験を有する教員が、地域福祉の基本的な考え方、主体と対象への理解、地域福祉推進の福祉行政の実施体制等について、実践的に指導する科目である。
林 芳治	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	2	健康福祉学科 社会福祉専攻	社会福祉協議会での実務経験を有する教員が、地域福祉の基本的な考え方、主体と対象への理解、地域福祉推進の福祉行政の実施体制等について指導する科目である。
林 芳治	ソーシャルワークの理論と方法（共通）Ⅱ	2	2	健康福祉学科 社会福祉専攻	社会福祉協議会でソーシャルワーカーとしての実務経験を有する教員が、ソーシャルワークの基本的な考え方、主体と対象への理解、実際に用いられているソーシャルワーク技術について指導する科目である。
健康福祉学科 社会福祉専攻 合計13単位					

実務経験のある教員が担当する科目：2023年度

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 コース	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
久代和加子	人間関係とチームコミュニケーション	2	2	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、ヒューマンサービスにおけるチームマネジメントの基礎的な知識を教授していく。さらに人間関係構築を含めた管理法の基礎を学び、OJTやOff-JT、スーパービジョンといった組織の中の役割について具体的に学ぶ科目である。
久代和加子	介護過程演習Ⅱ	2	1	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、介護過程の展開の方法を実践的に指導する科目である。特に、専門職としての生活課題の分析のために、医学的根拠に基づくアセスメント方法や多職種協働によるチームアプローチの方法も具体的に学ぶ科目である。
木田茂樹	介護過程演習Ⅰ	2	1	健康福祉学科 介護福祉専攻	介護福祉士として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、専門職として生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践をとまなう課題解決の思考過程について教授していく。実際の経験に即した具体的でわかりやすい事例を通して、自立支援のあり方を学ぶ科目である。
木田茂樹	介護過程総合演習	2	1	健康福祉学科 介護福祉専攻	介護福祉士として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、介護福祉実習で実践してきた情報収集、アセスメント、ニーズの把握、目標設定、具体策立案、実施、評価修正といった一連の流れを振り返ることで、信頼される専門職業人となるための基盤となる科目である。
羽染洋子	障害に応じた生活支援	2	2	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、さまざまな障害のある人の体験や支援方法を理解するために、医学的な障害のメカニズムや治療、ケアのあり方を教授する。障害のある人の支援には、医療も含む多職種連携も重要であり、チームアプローチについても学ぶ科目である。
羽染洋子	コミュニケーション技術Ⅱ	2	1	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、コミュニケーション障害のある高齢者や障がい者の特徴を教授していく。特に、病気や障害を抱えている方への適切なコミュニケーションが図れるよう基本的な技術を、実践的に指導する科目である。
長谷川美貴子	介護総合演習Ⅲ	2	1	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、地域で暮らす高齢者や障害者に対する支援という在宅介護実習体験の準備から振り返りまでを行い、学生自身が主体的に自己の課題を見出すよう導く科目である。介護実践における総合的な能力を修得できることを目的としている。
長谷川美貴子	介護エビデンス	2	2	健康福祉学科 介護福祉専攻	看護師として実務経験を有する教員が、その経験に基づき、介護援助のエビデンスとなる、身体の構造と機能についての医学的知識や心理的メカニズムを教授し、2年間の学びの統合を図る科目である。質の高い介護実践やエビデンスの構築に繋がり、各自の介護観が明確になるよう指導していく。
健康福祉学科 介護福祉専攻					合計11単位